

第3回杉並区外環道青梅街道インターチェンジ問題調査会議議事録

1. 日時：平成15年6月11日（水） 午後6時～午後8時

2. 会場：区西棟6階 第5・6会議室

3. 出席者：諸岡会長、内田委員、丸田委員、竹内委員

4. 会議録

【事務局】

本会議は公開であり、傍聴者の承認願います。
また、竹内委員が遅れて7時ごろになる予定です。

（各委員承諾）

【諸岡会長】

第3回外環道青梅街道インターチェンジ問題調査会議を開会します。

（会長挨拶）

【諸岡会長】

第2回の会議録の確認についてどうでしょうか。

（各委員承諾）

（事務局資料説明）

【諸岡会長】

練馬区長が大泉インターチェンジ周辺に交通集中があり、青梅街道インターチェンジを造るべきであるとのことであるが、交通集中がしているとのデータはあるのか。

【事務局】

大泉付近の状況については、P I協議会において国から出ています。また、都からも関連したデータが出ている。

【諸岡会長】

練馬区独自によるデータはあるのか。

【事務局】

練馬区独自によるものはP I協議会では出ていません。

【諸岡会長】

それでは、青梅街道インターチェンジ問題調査会議報告（たたき台）についての検討に入りた

いと思います。

(事務局により「たたき台」読み上げ)

【諸岡会長】

事前に各委員にお配りし、意見を聴取して一部を修正したものです。それでは、「たたき台」の審議に入ります。

【内田委員】

基本的には、会長案に賛成です。

「はじめに」の箇所になぜ調査会議が審議を急いだのか触れたほうがよいのでは。それは、P I協議会のタイムスケジュールや練馬区の意向などにより、不十分な前提のもと急がざるを得なかったためである。

「調査会議の見解」について、生活環境のことが一番述べられていることから、「生活環境、自然環境、景観等」と順序を入れ替えたほうがよいのではないか。

「異議を表明せざるを得ない」との表現をストレートに「反対」としてもよいのではないか。ぜひ言っていただきたいことが、都のやり方がフェアではないとのこと。後から東京都のやり方について出てくるが「はじめに」に出しておいてもよいのではないだろうか。

P . 2の「異議を表明せざるを得ない」の表現を整合性の観点から「反対」とする。

P . 3の「地元の意向」とは自治体の意向だけではないので、「自治体レベルでは」とした方が誤解を招かないのではないだろうか。

全体の構成に関するもので、P . 4の「第三に」以降では、前提条件が与えられていないことを強調している。ここを(3)にして「国や都は青梅街道インターチェンジ設置による影響、特に交通量の変化予測を早急に示すべきである」とかいてもいいのではないか。

「生活に与える影響」で「まちづくり基本方針(都市計画マスタープラン)では」の前に「善福寺地域は、杉並でも最も環境に恵まれた低層住宅地であり」のような現状の一定の評価があってそれを受けて「まちづくり方針」があるとしてもいいのではないか。

P . 6、P . 7の「・」の文章をもう少し整理できるのではないか。

P . 8の「地下水への影響」で「杉並区善福寺地域は神田川の水源の1つである善福寺池、及び善福寺公園、地域空間の核となっている井草八幡の境内がある」と客観的に述べたうえで「まちづくり基本方針」を述べるほうが、説得力があるのではないだろうか。

P . 10の「子供たちへの影響」を「子供たちへの生活及び心身面への影響」とある程度内容をあらわした方がよい。

P . 11の「インターチェンジ設置による効果について精査すると」を、精査するにも情報に限界があるため、「国や都によって与えられた資料をもとにして」とある程度限定をつけたほうがよいのではないか。

P . 13の「約1.8万台/日の交通集中」を「少なくとも」「最少でも」とある程度限定をつけたほうがよいのではないか。

P . 15の「以上述べたこと」の前に「なお、大深度地下で建設される場合、外環予定地の上部整備計画は外環建設とは切り離し、少なくとも青梅街道インターチェンジとは関係なく必要な道路は建設する」など練馬区に一定の配慮も必要ではないか。

P . 16の「アンケート調査の方法が区として定着している」とあるが、これは一方ではかなり批判もあると思われるので、「一定程度」としたほうがよいのではないか。

「関係情報が不足している」は、「関係情報の提供が不足している」としたほうが誤解がないのではないか。

【諸岡会長】

ありがとうございました。それでは、丸田委員お願いします。

【丸田委員】

基本的には、会長案に賛成です。

P. 1の「自然環境、生活環境、景観等」の箇所に「教育環境」を付け加えた方がよいのではないか。文教施設の集中ゾーンであり、良好な環境が培われてきた。このことを「教育環境」として付け加えることです。

P. 5の「コミュニティの崩壊」を「家屋移転により、過去から現在にわたって培われてきたコミュニティの崩壊」としてはどうか。現在ある環境を存続させたいとの意味で直したい。

P. 6の「排気ガス」の後に「人工排熱」を入れてほしい。善福寺周辺は、他の地域と比較して夏季には涼しいゾーンになっている。インターチェンジを造ることで交通量が増加し、車の排熱により、善福寺地域がヒートアイランドになる。

P. 7の「大気への影響」も「大気や排熱の影響」に変える。

P. 10の「インターチェンジ設置により」の後に文章をはっきりさせるため、「工事中のみならず、開設後にわたる」と入れて、工事中にも「子供たちへの影響」があることをはっきりさせる。

「子供達の生活」で「子供たち」の次に「生命」を付け加える。いろいろな現象が現れ、桃井第四小学校はインターチェンジに隣接しており、心身面への影響がある。

P. 14に[計画地周辺]とあるが、地名がわかるので記載したほうがよいのではないか。

インターチェンジの有無に関わらず、大深度地下による十分な資料、予測がされていない。今後、調査予測すべきことを述べておく必要がある。1つは、地下水への影響。2つは、自然生態系に与える影響。3つは、排気塔周辺に与える影響。4つは、排気塔の自然景観に与える影響。これらを、「おわりに」の箇所に記載してはどうか。

【諸岡会長】

ありがとうございました。竹内委員ご意見をお願いします。

【竹内委員】

P. 2の『外環整備は喫緊の課題で1日も早い整備が望まれるため、早く、安くできるように十分考慮し、沿線への影響を小さくする。』このため、『地上部への影響を小さくするため、極力、大深度地下を活用する。』部分を大きく『』でくくってしまう。

P. 3の[認識すべきであろう]を命令口調にせず「明白である」などとしたほうがよいのではないか。「~べき」とは、肝心な時に使ったほうが効果が高くなる。

P. 5の「しかしながら」これは逆接であり、接続詞を変えたほうがよいのではないか。

P. 7の「利用交通量は、約1.8万台/日より」は、予測の根拠を訊かれはしないかと思う。

P. 10の「子供たち」の表現を「次世代」などとしたほうがよいのではないか。

P. 15に「基礎的自治体」とあるが、基礎的自治体の定義はあるのでしょうか。

【諸岡会長】

ありがとうございました。

P. 1の見解について読み直してみると、「異議を表明せざるを得ない」との表現をもっと強い調子にしてもいいと思い、「反対」と述べたほうが、明確な答えになるのではないだろうかと思えます。

【事務局】

「基礎的自治体」は、地方自治法の中に定義があります。住民に一番身近な自治体との主旨でこの用語が使われています。

【諸岡会長】

3委員の意見を取り入れたものを18日頃までに配付し、その後の修正等は会長に一任していただき進めたいと思いますが、いかがでしょうか。

(各委員承諾)

【内田委員】

「反対」との表記については、委員の了解が必要ではないか。

【事務局】

大きなポイントですので、変更するならば変更すると一定の方向性を出していただければと思います。

【諸岡会長】

もう少し表現を強くして反対であれば「反対」としたいが、いかがでしょうか。

【丸田委員】

「反対」とした方がいいと思います。

インターチェンジ設置は、明確な要望があり地元が積極的に示すことが前提条件である。これは、有識者委員会の提言からも読み取れる。

【竹内委員】

「反対」に反対ではない。

「せざるを得ない」との意味は、いろいろ議論しても常にデータがない状態であり検討を行ったが「こう言わざるを得ない」との意味と理解した。この表現は、会議の内容をよくあらわしていると思います。あくまでもデータが出ないことが問題でありその結果である、とのスタンスである。

【諸岡会長】

有識者委員会の前提は、安く、早くということでインターチェンジ無しということである。国、都から全てのデータが出てきているわけではない。地元の意見を尊重するならばデータを出すべきである。その点を「せざるを得ない」では弱いと感じる。

【内田委員】

竹内委員がおっしゃることもある面そのとおりである。

見解の箇所、「インターチェンジを設置することに対し前提条件が与えられていない段階で、都が一方的に審議を急がせることは問題である」と述べた上でこのような状態であるならば「反対」であると言いたい。

【諸岡会長】

いかがでしょうか。

(委員承諾)

【諸岡会長】

3委員の意見を取り込み、会長素案を作りたいと思います。

【事務局】

会長と相談し、「たたき台」の修正をさせていただきます。

【諸岡会長】

報告書の字句の修正等については会長に一任してもらえますか。

(各員承諾)

【諸岡会長】

事務局と協議をし、18日頃までに各委員に送付したいと思います。

【事務局】

今回は、6月23日(月) 午後3時から、会場は、杉並区職員能力開発センターになります。
議題は、報告書(案)についての議論です。

当日は、報告書をまとめ山田区長に報告をしていただきたい。

最後に、この会議に要望書が出されています。上井草の中島様から会長あてに出されていますので、各委員にコピーを席上配布いたしました。

【諸岡会長】

これで閉会します。